



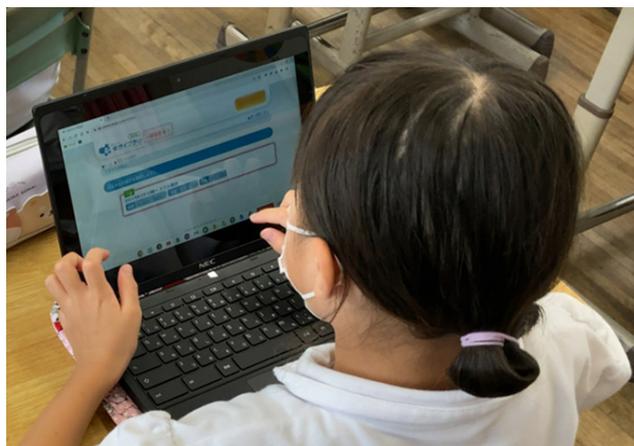
eライブラリで学習意欲を継続！

～自ら次に進む意欲を、自己有用感の土台に～

ICT活用を通じ、教員間の情報共有が以前に増して進んでいる俵口小学校では、タブレットやeライブラリの活用が学校全体に広まっています。

eライブラリを日常的に学習で利用しているという、3年生の授業の様子をご紹介します。

テンポよく問題を解き、学習内容の定着へ



▲ eライブラリを開くと、先生からの学習指示が、教材選択で迷うことなく、スタートできます。

理科 3年：こん虫の育ち

めあて こん虫の育ちをくらべて、にているところやちがうところを見つけよう。

情報担当 吉田 正志先生の授業では、めあてをもって、予想する、調べる、話し合う、まとめる時間をしっかりとっています。

そこで、授業の終盤には、学習内容の定着のため、**短い時間でも演習量が確保できるよう、eライブラリの「学習指示」機能を活用し、ドリルに取り組んでいます。**



▲ 予想する(教科書など)



▲ 調べる(動画)



▲ 話し合う、まとめる



▲ 演習 (eライブラリ)

まとめたノートを提出した児童は、棚からタブレットを出し、各自、eライブラリで学習を始めます。児童にとっては、**問題のヒントが見られること、間違っても「リトライ」できることが安心感となって手を止めず**にテンポよく進められ、解き進むほどに自信がついていくそうです。

インタビュー 使ってみる、気づく、気づきを伝える

ICTの活用を学校全体に広めるには、まずは使ってみること、自らが良さに気づくこと、そして得た気づきを教員間で持ち寄り、伝えていくことが大切です。

eライブラリのドリルは選択式が多く、試行錯誤の時間を減らすという面もあります。しかし、**すぐに結果が出て、間違えてもやり直して意欲が継続していくことは、絶対になくしてほしくない良さ**でもあると考えています。



情報担当/3年担任
吉田 正志 先生

eライブラリで準備時間短縮、先生の声掛けは大切

授業で「学習指示」を活用するポイントを、吉田先生に伺いました。



eライブラリは、授業のまとめやテスト前の確認に、よく利用します。

演習量を確保したいとき、これまでは多めにプリントを用意していました。「教材指定学習」なら、児童が教材選びに迷わないよう範囲は絞りつつも、自分のペースで先へ進めるよう難易度を指定しないでおき、十分な量を出題できます。

また、「学習指示」を利用するときは、机間巡視中に**児童の様子を見ながら「基本からやってみよう」「落ち着いて問題文を読もう」と声を掛けてあげる**ようにしています。

中には、頑張っ**て基本から挑戦まで**解き終える児童もいます。

▲ eライブラリなら、プリントを印刷する時間がかからず、解説教材とドリルを選択するだけです。

eライブラリ活用のねらい

- 短い時間で多くの演習量を確保できる。
- ヒントを見られる、即時に正誤判定ができる、「リトライ」できる、という点で、児童が安心感を持って取り組み、意欲が続く。

インタビュー 達成感と自信をつけ、自己有用感を高めてほしい

本校の児童は、委員会活動などをととも一所懸命に取り組み、集団への奉仕意識が高いにもかかわらず、それが自己有用感に結びついていない傾向があります。

eライブラリはスモールステップなので、児童に達成感や自信を味わわせることができます。

eライブラリを活用することで児童の自信や挑戦する心を引き出し、自己有用感の獲得、自己肯定感の向上へとつなげたいと考えます。



校長
増田 智子 先生

本校では、学力定着のため、家庭での自主学習を勧める「家庭学習のてびき」を家庭に配布し、その中でeライブラリも紹介しています。

eライブラリの活用は、児童の自主学習の選択肢を増やすことと捉えています。児童一人ひとりに合った学習方法があり、自主学習を通じて、児童には得意分野を自分でデザインしてほしいものです。自分の得意を伸ばしていくことが、各々の違いを認めることにもつながっていきます。

家庭学習のてびき
生駒市立依口小学校
令和4年4月改訂

自主学習として利用できる
「ラインズ e ライブラリ アドバンス 家庭学習」

児童用タブレットには、「ラインズ e ライブラリ アドバンス」というドリル問題を含む、いろいろな教育用コンテンツを利用できるサービスが導入されています。
「ラインズ e ライブラリ アドバンス」は、自分の家でも「家庭学習サービス」を無料で利用することができます。(ただし、パソコンの通信にかかる費用は、各ご家庭負担となります。)自宅のパソコンやタブレット端末からインターネットに接続して、「ラインズ e ライブラリ アドバンス」のドリルを使って、学習してみよう。学習の結果は履歴として残りますので、がんばる「めあて」になるとともに、継続的に学習を行うの「めあて」にもなります。

自主学習の材料はたくさんあります。学習課題を考えることも子どもたちにとっては重要なことですが、自分が見たいことは何か、興味のあることはどんなことかを発見するチャンスです。ご家庭では子どもたちのこのような思考の過程を大切に、一人一人のよさや可能性を引き出したり伸ばしたりできるよう、焦らずにお子さんを見守ってください。

▲ 学習履歴が残るのでがんばる「めあて」になるとともに、継続的に学習を行う「めやす」にもなります。※「家庭学習のてびき」抜粋